

令和6年第37回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年12月19日(木) 午前11時9分～午後2時8分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後1時47分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 細田生活安全部長
前田刑事部長 山本交通部長 樋口警備部長
濱本警察学校長 坂口情報通信部長 吉村警務部参事官

(事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

4 報告事項

○令和7年「110番の日」における広報啓発活動(生活安全部)

○警察本部代替施設の通信回線の更新(情報通信部)

(1) 令和7年「110番の日」における広報啓発活動(生活安全部)

警察本部

110番は、事件・事故等が発生した際に、警察に緊急の対応を求める通報手段として広く定着しているところである。全国警察では、毎年1月10日を「110番の日」と定め、緊急通報である110番の適正利用を呼び掛ける活動を行っている。また、緊急性を要しない相談等に関しては、各警察署の窓口や#9110の警察総合相談電話等を紹介するなど、適正な利用について県民

の理解と協力を求めるため、重点的に広報・啓発活動を行う予定である。今年度の主な取組としては、警察本部通信指令課員が、夕方のニュース番組である、NHKいろ★ドリの「ふるさと伝言板」コーナーに、ぱとろーくん、ぱとこちゃんとともに出演し、110番通報の適切な利用を呼び掛ける。また、広報用ウェットティッシュを各警察署に配布し、街頭広報で活用する予定である。同ウェットティッシュについては、先般、県庁で開催された警察音楽隊プロムナードコンサートにおいても、来場者に配布した。加えて、日本海新聞と山陰中央新報の2紙に広報文を掲載する予定としている。各警察署では、イオンモール鳥取北店、プラント5境港店等の大型商業施設、JR米子駅、道の駅等において街頭広報をするほか、ケーブルテレビ、コミュニティFMによる放送、自治体の広報紙、防災無線を活用した広報啓発等、工夫を凝らした活動を行う予定としている。

110番通報件数は、令和3年以降増加傾向となっており、今年は11月末現在で、前年同期比428件の増加となっている。通報の中でも、いたずらやかかけ間違い等、措置を要しない非措置件数が一定数を占めている。この中には、スマートフォンの誤作動による通報もあることから、引き続き注意喚起と各種広報・啓発活動を行っていく。本年は、110番受理に当たる警察職員を誹謗中傷する迷惑通報を何百回も繰り返した通報者を、業務妨害で逮捕した事例がある。今後も、各種警察活動を通じ、県民に110番通報の適正利用を呼び掛けていく。

委員

110番は、有事の際に緊急通報するための大事な番号である。県民に対し、110番通報の正しい利用方法について、理解と協力が得られるよう、しっかりと広報していただきたい。

委員

全国では刺殺事件が相次いで発生するなど、住民が不安に思う事件が頻発している。110番通報をすれば警察にすぐつながることから、特に不安が差し迫った状況では、大変有り難い番号である。私は110番を「絆の番号」と捉えており、そういった観点でも、110番通報の位置づけを広報していただきたい。

委員

年末年始は飲酒の機会が増えることから、様々な事案の発生が予想される。有事の際は、対応が急がれるので、県民に対し、110番通報の適正利用をしっかりと広報していただきたい。

警察本部

大規模な災害が発生した場合、情報通信部では、災害対策に必要な通信を迅速かつ的確に確保し、災害時における避難誘導、被害状況の把握、被災者の救出・救助活動等を行う。鳥取県内で大規模な災害が発生し、警察本部庁舎が使用不能となった場合、これまでは、バックアップ施設用の警察電話の回線は無線中継所の多重伝送路を経由してA県警察本部の電子交換機に接続し、警察庁、管区警察局や他県の警察電話等と通話できるようにしていたが、今年度、衛星通信システムの機器の更新に伴い、衛星回線を使用した伝送路に更新し、警察電話の回線収容先についても、対災害性の観点から見直しを行い、B県警察本部の電子交換機に接続するように変更した。

大規模な災害が発生した場合、いち早く通信手段の確保、情報の収集が求められることから、情報通信部では、県警察の各部門と連携して、業務継続ができるよう、通信機能の維持や各種訓練を実施するほか、技術力や技能を高め、円滑な警察活動が行えるよう努めていく。

委員

大規模な災害が発生した場合には、通信機能を確保するため、いち早く回線を復旧させることが重要である。機器の更新に伴い、災害発生時の対応に更なる改善が含まれていた。有事の際は対応をしっかりとお願いしたい。

委員

大規模災害時における業務継続のために、通信機能の確保は必須であり、通信機能を確保するための対策は重要である。言うまでもなく、日本は地震大国であり、どこで大規模地震が起きてもおかしくないと言われている。全国警察が代替機能を持たせており、有事に備えていることがよく分かった。

委員

災害に備え、通話・通信関係の対策が図られているとのことであり、大変有り難い。災害に対する各種の備えは必須であるので、しっかりとお願いしたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

3 事前説明

4 報告事項

5 決裁

- ・ 犯罪被害者等早期援助団体の役員等の変更
- ・ 公安委員会宛て苦情に対する回答について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。